

平成 30 年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等

1. 日時：2019年1月19日(土) 13時～15時 会場 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム

13時～15時 本人交流会

3. 当日の様子

参加者数 8人（内訳：当事者 2名、家族 4名、専門職 2名）

4. 様子

本日参加された当事者グループのみなさんは、前半、作業活動を行なわれ、後半は、若年性認知症施策について意見交換されていました。そのなかで、当事者の方より「出来る事を奪わないでほしい。少しでも出来る事があるうちは働いていたい。させてもらいたい。そう思えるデイサービスに行きたい」と積極的な意見を述べられていました。当カフェも、何か出来る場所であり続けたいと思います。

（いつもカフェをご利用頂いている方の数名のかたは、本日うるま市で行われていた「道迷いSOSシンポジウム 徘徊マリリン87歳の夏」に参加されていました。とてもよい映画だったようで、次回のカフェでは、その感想など伺いたいと思います！）



次回開催：平成 31 年 2 月 16 日（土）13 時～15 時 担当中野